訪問看護ステーション・居宅介護事業所 虐待防止指針

目的

本ステーションは、利用者の尊厳を守り、安全で安心な訪問看護を提供するため、虐待の防止に関する指針を定めます。

虐待の定義

虐待とは、利用者に対する身体的・心理的・経済的・性的な不適切な行為を指します。具体的には以下のような行為が該当します。

- 身体的虐待：暴力、過度の身体拘束など
- 心理的虐待：暴言、侮辱、威圧的な態度など
- 経済的虐待：財産の不当な管理、金銭の搾取など
- 性的虐待：不適切な接触や言動など
- ネグレクト（無視・放置）：必要なケアを提供しないことなど

虐待防止の取り組み

1. 職員の教育：虐待防止研修を定期的を実施し、意識向上を図る。
2. 監視・報告体制：虐待の兆候を早期に発見し、適切な対応を行う。
3. 利用者と家族の支援：利用者の相談窓口を設置し、安心して相談できる環境を整える。
4. 第三者機関との連携：必要に応じて行政機関や関係団体と協力し、適切な支援を行う。

相談・報告窓口

万が一、虐待の疑いがある場合は、速やかに下記の窓口に相談してください。

☎【相談窓口】

かがやき訪問看護ステーション	0466-54-2561
あかしあ訪問看護ステーション	0467-89-2830
おおいそ訪問看護ステーション	0463-60-3117
洋光台訪問看護ステーション	045-830-0788

本指針は、利用者の安全を最優先とし、全職員が責任を持って遵守するものとします。